

主催 日本キリスト教協議会(NCC)「障害者」と教会問題委員会

# 2021年「障害者」週間

11月7日(日)～13日(土)

## 「支え合う『いのち』—新型コロナ危機の中で」

聖句：ローマの信徒への手紙 12章 15節

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」



鳥さん 心を優しく 明るくしてくれてありがとう

### 「未曾有の危機の中で支え合いの心を広げていこう」

……どうか、わたしたちがあるけない人の足となり、はなすことのできない人の口になり、きこえない人の耳になることができますように。イエスさまはわたしたちに「光の子として歩みなさい」と言われました。どうか、わたしたちがこの世界を明るくしてひとりひとりとなって、おたがいをかがやかすことができますように。みんなでいっしょにたすけ合って生きるためにイエスさまのやさしさとつよさをください。

イエスさまのおなまえによって、おいのりします。アーメン。

(NCC「障害者」週間のための「子どもたちの祈り」より)

(止揚学園のなかまたち)

止揚学園のなかまたちは自分の思いを言葉で言えない人がほとんどです。しかし描かれる色彩豊かな絵には、喜びの言葉、悲しみの言葉、苦しみの言葉、優しい言葉、それらすべてがあり、命と命を結ぶ架け橋となってきました。

NCC「障害者」と教会問題委員会は、1981年の「国際障害者年」以来、11月の第二聖日の週を「障害者」週間として位置づけています。それぞれの教会で「障害者」の偏見と差別をなくし、お互いに支え合っていけるようお祈りをお願いいたします。